

綾川町における医療と 介護の連携への取組み

綾川町国民健康保険
陶病院

綾川町の概要



- 総面積：約110km²
- 人口：25,249人
- 高齢化率28.9%(県25.8%)
- 世帯数：9,337戸
- 世帯人数：2.7人
- 高齢者単身割合：17.7人
(県23.6人)

(65歳以上人口100人当たり
22年国勢調査)

- 要介護(要支援)認定者：
1551人
要支援:366人 要介護:1185人



町内の社会資源



- ・病院・・・2 (在宅療養支援病院1)
- ・診療所・・・12 (在宅療養支援診療所3)
- ・歯科医院・・・7
- ・居宅介護支援事業所・・・13
- ・訪問看護ステーション・・・3
- ・訪問リハビリテーション・・・4
- ・訪問介護事業所・・・8
- ・老人保健施設・・・1
- ・特別養護老人ホーム・・・2
- ・地域包括支援センター・・・1
- ・調剤薬局・・・12
- ・訪問入浴・・・1
- ・ショートステイ・・・4
- ・デイケア・・・4
- ・デイサービス・・・4
- ・小規模多機能型・・・1
- ・グループホーム・・・2
- ・有料老人ホーム・・・2

町内の医療、福祉サービスは
比較的充実している

陶病院の概要

在宅療養支援病院



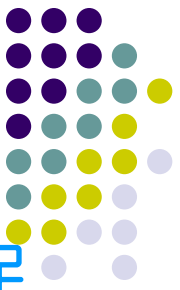
- 病床数：63床（一般35床、療養28床）
- 内科、小児科、耳鼻咽喉アレルギー科、泌尿器科、皮膚科、リハビリテーション科、など12科
- 訪問リハビリ、通所リハビリ
- 訪問診療：内科医師5名で対応
訪問診察 月.火.木.金.午後
訪問看護ステーションと連携、協力
23年度訪問診療延訪問件数 2252件
在宅見取り率21.6%

併設施設

国保総合保健福祉センター えがお
町健康福祉課 地域包括支援センター
訪問看護ステーション 居宅介護支援事業所
介護老人保健施設 あやがわ
入所 通所リハビリ 短期入所

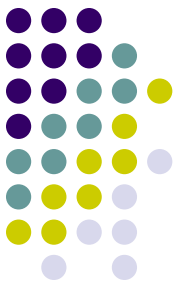


在宅療養の課題と拠点の活動計画



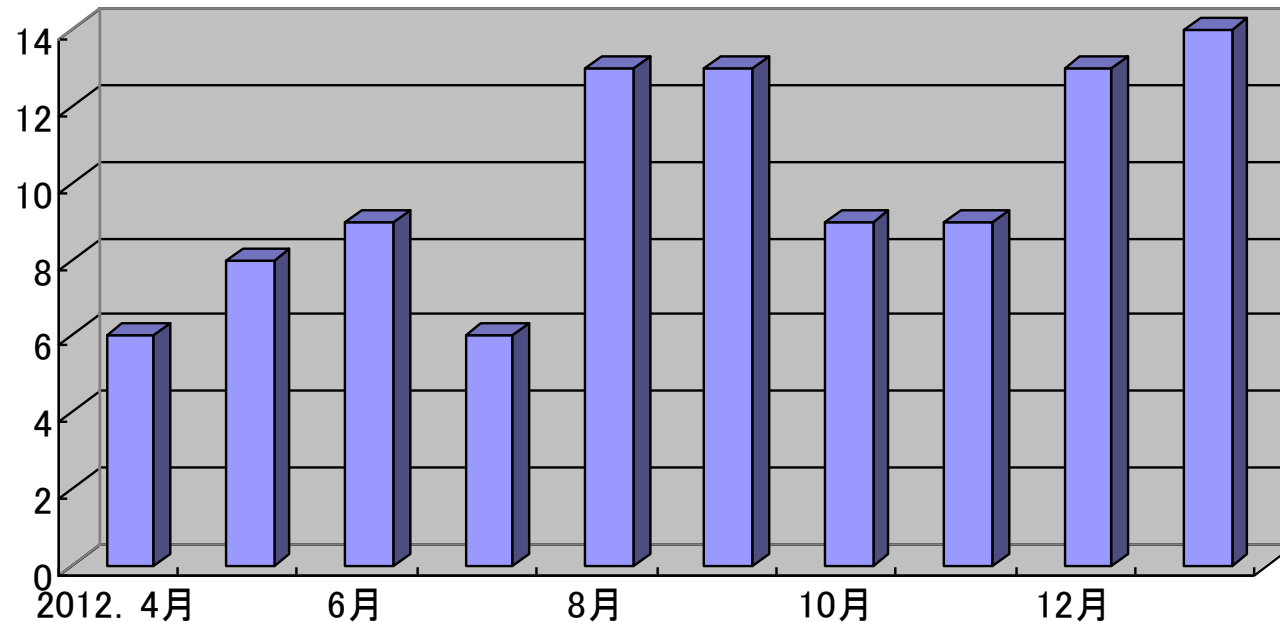
- ケアマネ中心の担当者会のみで町内全体の連携が不足
 - ・ 運営委員会の設置：3回/年
 - ・ 在宅勉強会の開催：4回/年 ミニレクチャー、グループワーク
- 医療依存度が高い利用者の緊急入院先、リハビリ先がない
 - ・ 在宅療養支援病院として緊急時入院、リハビリ入院の受入
- 地域住民の在宅サービスに対する知識不足
 - ・ 町民フォーラムの開催：1回/年 講演、シンポジウム
 - ・ 在宅療養普及会の開催：2～4回/月
 - ・ 在宅療養に関するガイドブック作成
- 急性期病院関係者の在宅療養に対する理解がない
 - ・ 在宅療養の現場理解のための勉強会開催：1回/年

医療依存度の高い利用者の 緊急受け入れ



- 地域ケア専門委員会に参加し入院受け入れの周知を実施
- 院内の病床管理委員会に参加し医療依存度の高い利用者の受け入れに積極的に関わった

診療所からの紹介入院(レスパイト含む)



在宅療養普及（いきいきサロン）

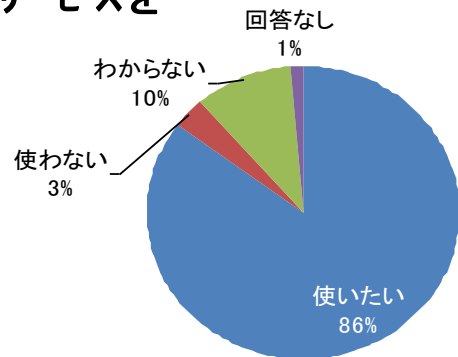
11月～2月 19回開催

参加者数:334人（80・90歳55%）

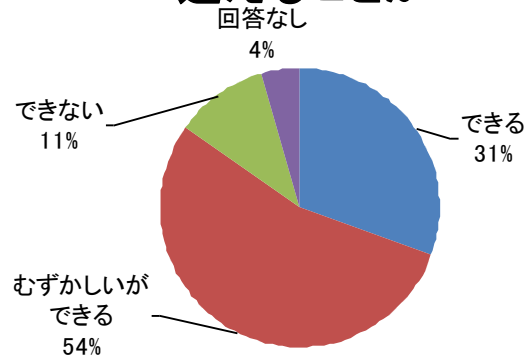


11/7
羽
床
上
サ
ロ
ン

在宅サービスを



今日の話聞いて自宅で最期を迎えることが



自由記述

- ・医療・介護のつながりサービスなどがよくわかった
- ・自分の死期をどこで迎えるか心の整理をしたい
- ・もう84歳、いつ来るかわからないその時が不安でたまらない
- ・老後の不安に少し明るい希望が見えてきた
- ・近隣ボランティアの重要性を再認識した
- ・自分の死について道が見えた、一寸世話になって死にたい
- ・話を聞いて気持ちが落ち着いた

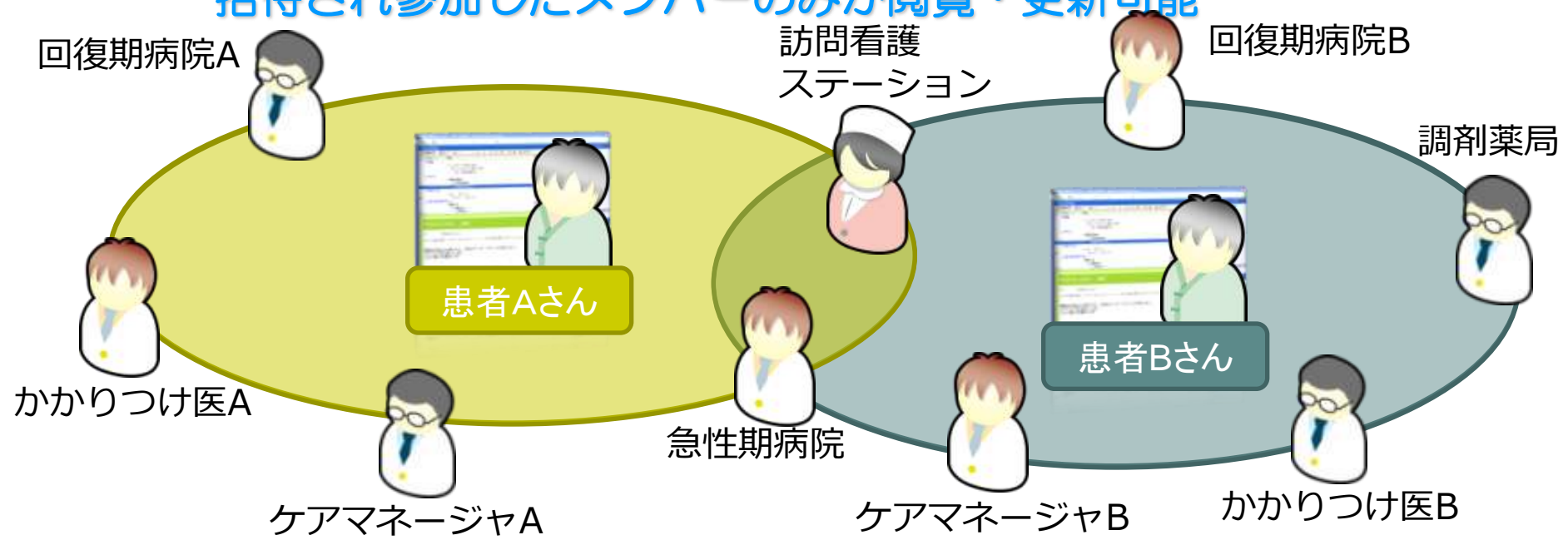


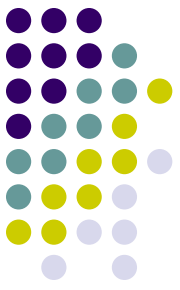
拠点での特徴的な取り組み

在宅パスIT化の取り組み ～Microsoft Share Pointを用いて～

在宅版地域連携パス（香川シームレスケア研究会作成）をIT化し、
医療・介護間の情報共有をタイムリー且つスムーズにする

- 市販ソフト、セキュリティが高い、安価、使いやすい、
- ワークスペース内の情報は、そのワークスペースに招待され参加したメンバーのみが閲覧・更新可能





● ケアマネジャーからの感想

- ・特に認知症のある方、独居の方について毎日の様子がよく分かり助かる
- ・予定表で主治医の訪問診療日時が分かり、その時間に合わせて訪問することで、主治医と直接話をする事ができた。
- ・既存の紙ベースの記録もあり、二度手間である。
- ・ディスカッションの機能を使い、担当者会の日程調整をスムーズに行う事ができた。
- ・参加メンバーと直接メール交換ができて便利である

● その他の職種の見解

- ・訪問の前に前日の状態を確認できるので計画が立てやすい
- ・本人の希望が素早く主治医に伝わり早急に対応してもらえた
- ・患者さんの医療情報がわかるのでその人にあった薬剤指導ができる

在宅パスIT化事業参加事業所数 44箇所

参加医師数 6人 対象患者数24例

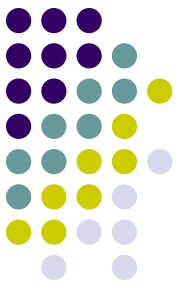


医療機関 . . . 4	短期入所介護事業所 . . . 3
調剤薬局 . . . 4	小規模多機能型居宅介護 . . . 1
居宅介護支援事業所 . . . 10	歯科医師会在宅歯科医療連携室 . 1
訪問サービス事業所 . . . 10	地域包括支援センター . . . 1
通所サービス事業所 . . . 7	障がい者福祉サービス事業所 . . . 2
社会福祉協議会 . . . 1	

在宅パス / IT化における今後の取り組み

- システムの活用方法、入力方法等の相談、指導の継続
- IT化推進のための説明会、報告会、情報交換会の実施
- 登録患者数拡大のための医療機関訪問
- 社会資源ガイドブックの掲載
- 掲示板の有効利用（最新情報、耳寄り情報などの掲載）
- 香川県全域に在宅パスIT化を拡大する

効果的な活動にするためのポイント



- 公共的立場での拠点事業所

- ・ 地域包括支援センター、社会福祉協議会との協力が得やすい
- ・ 活動参加への呼び掛けがしやすい
- ・ 町内広報誌、町内無線放送の活用ができる

- 事業所訪問

- ・ 聞き取り調査や勉強会の案内等の際、直接事業所を訪問することでより連携が取りやすくなり、相談を持ち掛けやすい

- 全体勉強会の継続

- ・ 多職種顔の見える関係ができ相談しやすい関係が生まれる